

- 整備方針**
- ◎早期実行プロジェクト
 - ◆都市マス実践業務
 - 重点プロジェクト
- 取組施策**
- ☆取組中、★取組完了

～稲梓地区～

◆①(仮)下田北ICや(仮)須原IC周辺は、交通立地の優位性を活かし、災害時にも連携できる企業や、地域の資源を活用してくれる企業の誘致、災害時にも活用できる広場の確保を行う。(防災と地域発展のための区域)

- ◎③森林散策を楽しむことができ、森林に入る機会をつくることで、森林保護も行うことができるかたちをつくる。
- ①山を適正に管理し、風倒木等を未然に予防する。
- ☆③地場産業振興型観光施設等を拠点とした農業などの体験プログラムの実施・充実

●①伊豆縦貫自動車道の整備状況に併せ、幹線道路の整備を推進する。



- ③地場製品の販売所は、地域交流の場、地域の台所、地元の人々が作った農作物の販売所として大切に作る。
- ◎①新たな就業環境の創造と空き家対策を図る。
- ◎③来訪者や市民が自由に農業を行うことができる場を提供する。
- ◎③農業を行いたい人(新規就農者)を支援する体制をつくる。
- ☆③地元製品の販売体制の確保
- ☆③沿道への花の植栽・管理(アダプトプログラム(里親制度)の実施など)



問合せ先 建設課都市住宅係
☎222219

※市ホームページでは、下田市都市計画マスタープラン本編及び概要版を閲覧することができます。

興味のある方はぜひご連絡ください。

今月号で地域別構想の紹介は終了となります。下田・本郷地域、稲生沢地域、朝日地域では地域別構想を実現していくため、まちづくり実践会議を開催しています。

会議ではまちづくりについて地域の皆さんが意見交換をしています。

○地域別構想(稲梓地域)

『地域の将来像』
「里山を活かした、人の集いと人のふれあいの稲梓」

①土地利用と交通
定住者を増やすための基礎をつくる

②安全と都市施設
安全面の向上と暮らしたくなる機能をつくる

③自然、歴史、文化、賑わい
地域が活気づく魅力をつくる

下田市都市計画マスタープランの改訂について

本市では、平成28年3月に「下田市都市計画マスタープラン」の改訂を行いました。今回は、白浜地域、稲梓地域の地域別構想についてお伝えします。

○地域別構想(白浜地域)

- 『地域の将来像』
「白い砂浜や豊富な緑に親しみ、心豊かに過ごすことができる白浜」
- ①土地利用と交通
暮らしと融合するリゾートの基礎をつくる
 - ②安全と都市施設
安全面の向上と訪れたくなる機能をつくる
 - ③自然、歴史、文化、賑わい
リゾートしたくなる魅力をつくる

- 整備方針**
- ◎早期実行プロジェクト
 - 重点プロジェクト
- 取組施策**
- ☆取組中、★取組完了

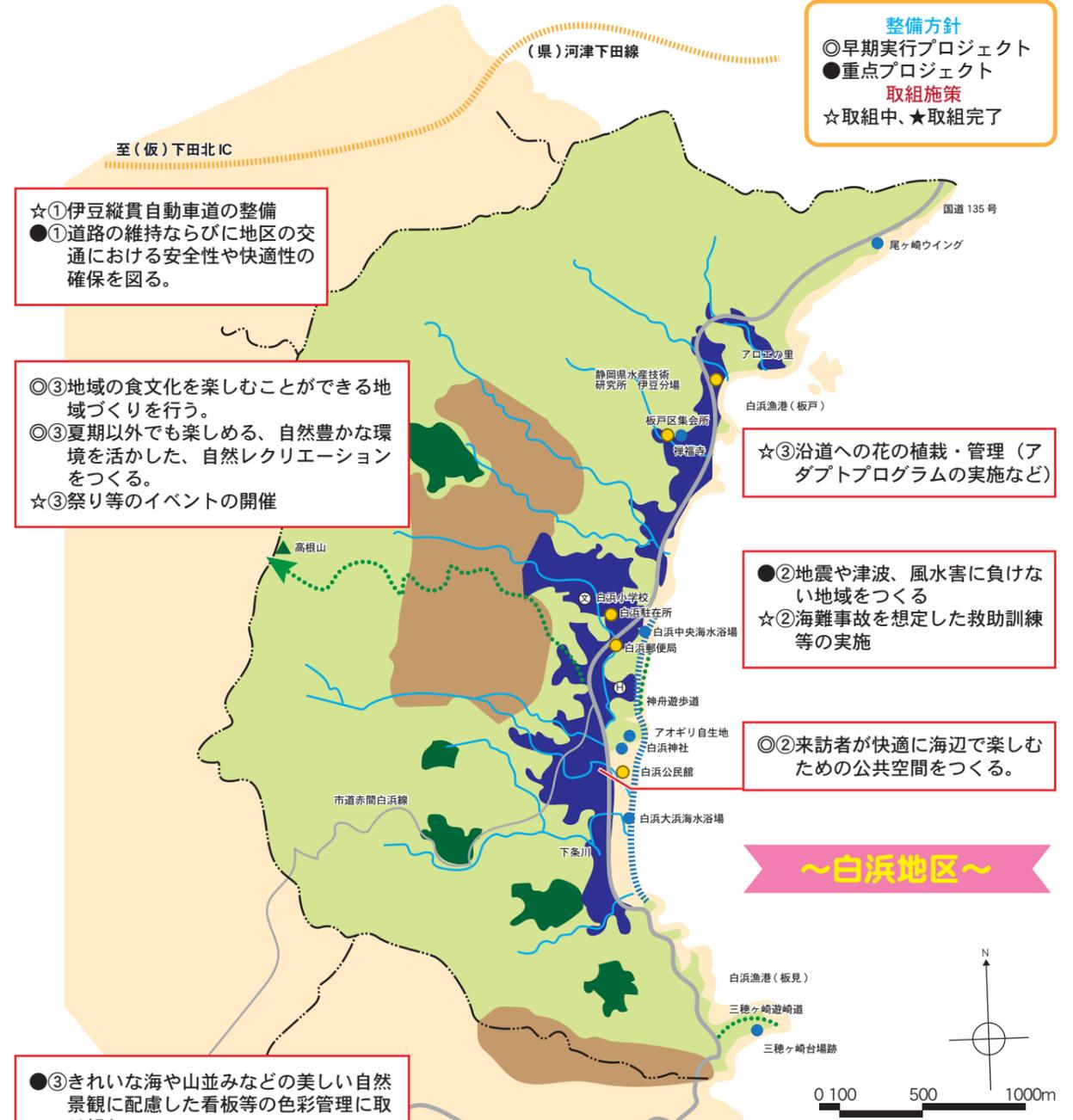
☆①伊豆縦貫自動車道の整備
●①道路の維持ならびに地区の交通における安全性や快適性の確保を図る。

- ◎③地域の食文化を楽しむことができる地域づくりを行う。
- ◎③夏期以外でも楽しめる、自然豊かな環境を活かした、自然レクリエーションをつくる。
- ☆③祭り等のイベントの開催

☆③沿道への花の植栽・管理(アダプトプログラムの実施など)

- ②地震や津波、風水害に負けない地域をつくる
- ☆②海難事故を想定した救助訓練等の実施

◎②来訪者が快適に海辺で楽しむための公共空間をつくる。



- ③きれいな海や山並みなどの美しい自然景観に配慮した看板等の色彩管理に取り組む。
- ③地域が誇る白浜地域の美しい景観を多くの人に見てもらうために、ビューポイントをPRする。

